

平成28年度豆類振興事業助成金(試験研究)の成果概要の要約

④課題:道央・道南地域に適した複合病害抵抗性、高品質、多収小豆品種の開発強化
 代表者:北海道立総合研究機構 十勝農業試験場 主査(小豆菜豆) 佐藤 仁

目的

十勝農試における小豆品種改良を強化し、道央・道南地域に向く品質・収量性の選抜、茎疫病圃場抵抗性の選抜・検定をはじめ落葉病抵抗性や耐冷性を検定する。加えて、製あん適性の評価を実施し、本地域向けの小豆有望系統を育成する。

成果

①道央・道南地域に適した系統の選抜と地域適応性の検定

・F7世代以降では茎疫病圃場抵抗性を有する「十系1241号」など8系統を継続検討とした(表)。

②アズキ茎疫病圃場抵抗性系統の圃場選抜と検定

・F7世代以降系統検定試験では、14系統を茎疫病圃場抵抗性“強”、2系統を“中”、3系統を“弱”と判定した。

③道央・道南地域に適した系統の中期世代以降の加工適性検定

・F7世代以降の21系統および小規模生産力予備検定試験8系統について、製あん適性を評価し、選抜の資とした。

種類	品種名 系統名	病害抵抗性						開成 花期 (月日)	倒伏 度 (%)	主茎 長 (cm)	子実 重 対比 (%)	百粒 重 (g)	製あん適性			次年度 取扱い				
		落葉病 レース		茎疫病 レース		萎凋 病 ほ場	シスト セン チュウ						あん 粒子径 (μm)	L*値	a*値		b*値			
		1	2	1	3													4		
普通 小豆	十系1234号	R	R	R	R	R	—	R	—	7.26	9.14	1.5	62	108	15.2	121.2	35.59	10.15	7.71	継続
	十系1235号	R	R	R	R	R	—	R	—	7.26	9.15	2.0	64	111	15.5	126.2	35.38	10.13	7.76	継続
	十系1241号	R	S	R	R	R	強	R	—	7.24	9.6	1.7	65	128	13.3	115.5	35.18	11.26	9.02	継続
	十系1244号	R	R	R	R	R	強	R	—	7.23	9.7	1.7	62	121	13.3	114.6	35.86	10.87	8.68	継続
	十系1246号	R	S	R	R	R	強	R	—	7.24	9.15	2.5	73	128	15.0	122.5	39.14	9.72	8.50	継続
	十系1247号	R	S	—	—	—	—	R	R	7.24	9.13	3.0	74	118	13.6	131.1	37.41	10.35	8.44	継続
	十系1252号	R	S	R	R	R	—	R	—	7.25	9.13	2.2	72	109	15.0	118.9	38.51	10.14	8.37	継続
	十系1253号	R	S	R	R	R	—	R	—	7.25	9.11	2.3	72	122	16.0	123.2	37.71	10.26	8.67	継続
	きたあすか	R	S	R	R	S	弱	R	S	7.25	9.11	2.5	91	111	16.7	123.0	37.67	9.82	8.46	—
	エリモショウス	S	S	S	S	S	弱	S	S	7.25	9.10	2.0	75	(251)	13.2	115.0	38.01	9.36	7.77	—
しゅまり	R	S	R	R	R	弱	R	S	7.26	9.12	2.0	76	96	13.1	117.5	38.95	9.36	7.14	—	

F7世代以降系統適応性試験成績(中央農試・継続検討の系統のみ抜粋)